

学部の新設続く 看護と教育が大幅増

学校基本調査に見る、2000年度以降の学部数

旺文社 教育情報センター 2024年3月21日

毎年、文部科学省は学校基本調査を行い、さまざまなデータを公表している。本稿では、その中から大学の学部数に注目し、2000年度から2023年度まで、どのような学部が増加したかを調査した。

(※本稿で示すデータは「学校基本調査」(文科省)による。各年度で在籍者が存在する学部が集計の対象。)

■全体の学部数は増加傾向

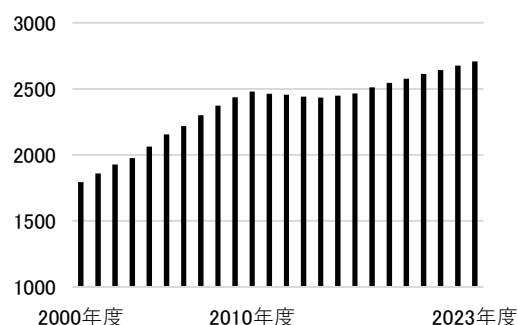
2000年度、全大学の学部数を合計すると1794学部だった。2010年度から2014年度にかけて僅かに減少したが、それ以外の年度で増加し、2023年度は2708学部となった(図表1)。

学部数が増加した背景として、まず、大学が増えたことが挙げられる。大学数は各種調査の基準によって示される数値が異なるが、学校基本調査によると2000年度は649校で、2023年度は810校。大学が新設されれば、当然それに伴い学部数も増える。

この他、学問の高度化、細分化や社会の変化もあろう。さまざまな分野で、より特化された学部や世相に合わせた学部が新設されていく。

新しい学部を設置する際、かつてはすべて文科大臣の認可が必要だったが、2004年度の開設からは学問分野を変更しないものについては届出制となった。これにより、改編の件数が大幅に増加した。

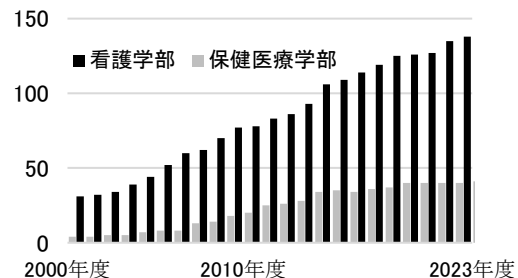
[図表1] 全大学の学部数推移



■大きく増えたのは看護学部

2000年度から2023年度にかけて、看護学部が大きく増加した(図表2)。2000年度は30学部だったが、2023年度には138学部となった。学部の名称のみに注目すると、2023年度に看護学部が経済学部を抜いて最多になった(2023年度の経済学部数は133)。経済を学べる学部

[図表2] 看護学部数、保健医療学部数の推移



の名称はさまざまで、学部規模も大学によってさまざまのため、看護を学ぶ学生が最多になったわけではないが、看護系の増加が著しい。

保健医療学部も4学部から41学部増加した。また、医療保健学部など、保健医療学部と同系統の学部も増えている。

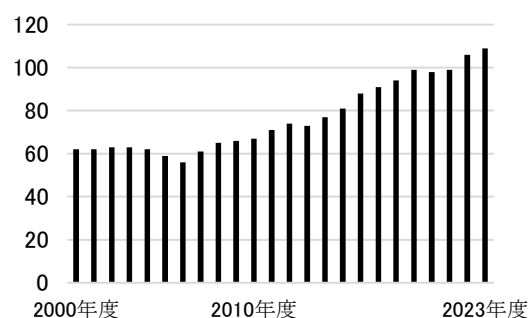
看護系の学部や学科が増加した理由は、(1)看護師の職務が高度化・専門化していったこと、(2)国が人材育成のための施策をとったこと、(3)人気学科として大学が設置を進めたことなどが挙げられる。※[こちらも参照 \(2014年弊社記事\)](#)。

■教育学部も増加が著しい

看護・医療系学部の他、教育学部も増加が著しい(図表3)。

国の方針として原則、昭和50年代以降は大学等の新設は抑制されてきた。量的な拡充よりも、質的な整備の充実に努めることを重視する意図だ。その後、2003年度に教員養成系など5分野を除き抑制方針は基本的に撤廃され、教員養成系は2005年に撤廃された。教育学部は調査した期間内では2006年度に56学部で最少だったが、抑制策の撤廃以降、概ね右肩上がりに増加し、2023年度は109学部である。私立が参入して学部増となった。なお、教員免許の取得に関しては制度の変更が複数回行われ、教育学部に限らず取得可能な学部は増えている。

【図表3】教育学部数の推移

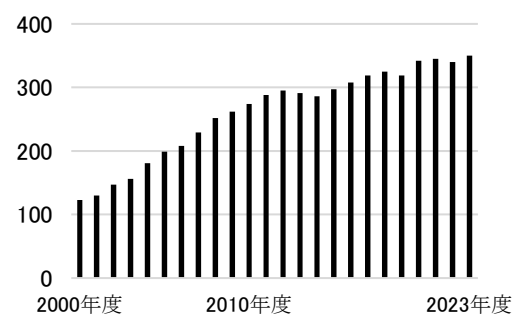


看護学部と教育学部の他は、経営学部が32学部増、薬学部が31学部増、心理学部が27学部増となった。

■独自の学部名も増加

大学が学部を新設・改組する際に、他の大学にはない、独自の学部名にすることも増えている(図表4)。2000年度は、独自の学部名は123学部だったが、2023年度は350学部にまで増加した。独自の名前を付ける理由として、他の大学との差別化が挙げられよう。人によってさまざまなイメージが浮かぶ単語や、聞き慣れない単語を使うと、その学部で履修できる分野がわかりにくくなってしまいう側面もある。だが一方で、その独自性が志願者の興味を刺激する場合もあるだろう。志願者を獲得するための大学の工夫は続いていく。

【図表4】独自の学部名の推移



Memo ～時世と学部名～

本稿と関連し、「時世を表すキーワードと学部」という視点で名称を見てみる。近年見聞きする単語の例として「情報」「国際」「福祉」「環境」「地域」が挙げられよう。これらを含む学部名はいくつあるか、2000年度と2023年度で比較してみた(2000年度⇒2023年度)。時代の要請とともに変化する学部名の様子が見て取れる。

- ◎「情報」：経営情報学部、社会情報学部など。78学部⇒113学部。やや増えたが、2000年度には既に学部名として定着している。なお、「データ」は2017年度に初めて現れ、2023年度は13学部を数える。
- ◎「国際」：国際文化学部、国際コミュニケーション学部など。63学部⇒145学部。
- ◎「福祉」：社会福祉学部、健康福祉学部など。44学部⇒81学部。
- ◎「環境」：生命環境学部、生活環境学部など。22学部⇒47学部。
- ◎「地域」：地域政策学部、地域創造学部など。10学部⇒33学部。

この他、「子ども」「こども」「児童」、「コミュニケーション」、カタカナやアルファベットを含む学部名はどうか。

- ◎「子ども」「こども」：子ども教育学部、子ども発達学部など。0学部⇒29学部。
- ◎「児童」：0学部⇒9学部。
- ◎「コミュニケーション」：国際コミュニケーション学部、グローバル・コミュニケーション学部など。9学部⇒21学部(2017年度に25学部)。
- ◎カタカナ、アルファベット：スポーツ科学部、メディア学部など。32学部⇒240学部。

(2024.3 今村)